



会報



DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

スキ—

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 — 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木善作
幹事 高橋辰美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第792号 1975.2.18 (火) (曇) No.32

会報はご家族みんなで読ましましょう

◆出席報告

本日の出席

会 員 数	66名
出 席 数	48名
出 席 率	72.73%

前回の出席

前回出席率	71.21%
修正出席数	59名
確定出席率	89.39%

欠 席 者

阿宗君、早坂(徳)君、飯白君、五十嵐(伊)君
市川君、海東君、黒谷君、嶺岸君、森田君、
中江君、齋藤(信)君、佐藤(忠)君、佐藤
(正)君、佐々木君、進藤君、高健(正)君
津田君、鷺田君

マークアップ

阿部(公)君、阿部(襄)君、進藤君、安藤君
黒谷君、小松君、高橋(辰)君、嶺岸君、中野
(重)君、佐藤(友)君、新穂君—鶴岡西RC
藪田君—新潟RC

◆ビジター

本間留芳君、今野義介君—温海RC
上野十九治君、工藤武樹君、庄司満君、
佐藤成生君、五十嵐正雄君—鶴岡西RC

◆点 鐘 12.30 会 長

◆ロータリーソング 奉仕の理想

◆本日のビジター紹介 S・A・A

◆本日のゲスト紹介 会 長

(毎日新聞記者 雨宮氏)

新聞記者の見た鶴岡と鶴岡人

◆歓迎のことは 会長

◆会長報告

◆幹事報告

◆委員会報告

1. 早坂源四郎君

1. 会員増強委員

◆ロータリー情報委員会

張 紹淵君
山本隆男君
津田晋介君

“ローターアクト・クラブとは何か、
その設立手順と活動について”

ロータリーの、若い男女のための奉仕クラブは沢山あります。ノールウェイのオスローにある、ギムレ・ローターアクトクラブの会長、トール・マーテインセンさんの話しに依りますと、その地区には4つのローターアクトクラブがあり、**彼等は(1)ギムレで働いたり(2)勉強したりしています。(3)他人の手助けになることに興味を持って、(4)世界的な友好の仲間であると云っています。**

ローターアクトクラブは、現在(1975年)に、①世界60カ国にあって、(2)クラブ数が1,800もあり、そして(3)急速に拡大をしています。

ローターアクト・クラブの基本的な目的は①**社会奉仕**②は**職業に於いて高い道徳的水準に対する興味をいい、③は外国人の人々とつき合って、よりよく理解をしようとする**ことであります。ギムレ、ローターアクト・クラブ会員の①**社会奉仕活動**の幾つかを挙げますと(1)地元の血液銀行に、自分達の血液を提供し

たり、(2)血液銀行職員にも献血をしてもらいました。次に、(3)薪を切り、束ねて、力仕事の出来ない老人に配ってやったり、(薪作戦)仕事の後で、筋肉痛がおこって来ました。(4)国立刑務所に行き、何人かの同年輩の囚人達を訪問、彼らに外界とのつながりの一つとして、色々なことを話し合い①ニュース②スポーツ、③開放されたら、何をするかなど、なぐさめおしえます。(5)身障児には、年に2、3度の週末奉仕をします。(6)赤十字社関係のキャンプ学校のために、催物や遊戯を提供するなどをして、(7)自分たちが小さな世界から抜け出す途が開かれます。(世界の見解がひろくなります)それと同時に、(8)他人の関心事に興味を覚えて来ます。

②**職業奉仕**では、(1)単なる職業だ、と云う考え方でないことが教えられます。(2)職業が如何に社会に役に立つかについて、自分達は関心を持つようになり、(3)高い道徳的水準とは何から成り立っているかをも考えさせられます。③**国際奉仕**は、(1)我々にとっては、世界に眼を向ける窓であります。例えば、毎年オスローの有名な冬祭りには、(2)方々の国々から人が訪れ、中にも一流のスキー・ジャンパーもいますし、訪問客の中には、(3)他のローターアクト・クラブの会員もいます。(4)一緒になって自分たちの国々のことを話し合います。(5)意見を交換したり、(6)又、オーストラリアのローターアクト・クラブは筏レースをやって見せたりそして楽しみ乍ら、(7)活動資金を集めたりします。マレーンヤでは、(8)町の水道施設の修理を手伝ったり、(9)又、我

々は写真や手紙や知恵を交換したり、(10)彼らのクラブで成功したことは、我々にも役立つますし、(11)個人的にも沢山の利点がありますし、私は、ローターアクトを通じて、(12)多くの新しい友人が出来ました。(13)皆と集まって楽しい時を過ごします。(14)違った経歴を持つ人々の意見を聞くのは楽しいものであり、そして、(15)隔週の例会の親睦を楽しみます。(16)又、色々な点で、ローターアクトはその提唱者であるロータリークラブと同じ目的を持っています。ローターアクトはすべて提唱者としてロータリークラブを持っています。(17)ローターアクト・クラブ会員は、ロータリアンではありません。しかし、両者の関係は密接であります。

私達のローターアクト・クラブの設立は、その始まりは、(1)ギムレ・ロータリークラブの会長が、(2)委員会を任命して、(3)ローターアクトに関する色々な文献を検討して、(4)その手続や、(5)その提唱に伴う責任を研究したときに始まりました。(6)委員会から理事会に報告が提供されました。(7)それから、理事会は、クラブの承認を求めます。(8)そのために例会では細部にわたって充分に審議されました。ローターアクト・クラブの会員は、(1)大学、専門学校、その他の学校の学生から得ることも出来ます。(2)或いは、地域社会内に住み、働いている若い人々から求めることも出来ます。(3)ローターアクト・クラブの会員は殆んどは、地域を単位にしています。

私達のギムレ・ローターアクト・クラブは一寸変わっています。会員は、(1)地域からも、

大学からも入れているのです。次に、(2)18才から25才までの男女共に会員となる資格のある会員候補のリストを作りました。(3)ローターアクト・クラブが学校単位で作られるときは、学校当局の承認を必要とします。こういうクラブは、課外活動に関するすべての規則に従わなければなりません。いづれの単位で設立しようとしても、(4)先ず第一番に、会員候補にローターアクトの説明をよくすることです。次に(5)質疑応答を重ねます。そこでは(6)クラブの構成と(7)会員の任務業について質疑が行われます。(8)忘れてはならんことは、会員は、クラブの例会に少なくとも60%出席しなければならないことと、(9)会員は、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕に於けるクラブの活動に参加しなければならない、ことなどを説明することです。第2回目の会合で(10)会員候補は、クラブの組織を進めるか、どうかを決定します。(11)ギムレの場合は決定は勿論“イエス”でした。(12)こう云う順序でやれば、まことに簡単にローターアクト・クラブが動き出すのであります。

ギムレは勿論、他の国々のローターアクト・クラブ会員も同様に感じていると思いますが、ローターアクトは、(1)我々のために、奉仕への途を開いてくれたと申して差支えないと思います。ローターアクトは、(2)我々の地域社会を見直すことを教えてくれました。と云います。(3)どうしたら、それをより良くすることが出来るかを考えることを教えてくれました。ローターアクトは、(4)我々の職業について、もっと深く考えることを教えてく

れました。(5)そして、どうしたら我々の職業が社会の役に立つかを教えてくれました。ローターアクトは、(6)外国の文化から学ぶべきことの多いことを示してくれました。そして、(7)①誰でも②自分の生き方③自分の考え方だけが、正しいのだと考える程に、④自分自身を拘束してしまうものであることも教えてくれました。(8)来訪の友人達のローターアクトの皆さんが、ギムレに来たことを喜んでいるのです。(9)もし、皆さんの町でもローターアクト・クラブ会員が活動するのを見たいと云うことならば、⑩何をみせるかを、あらかじめ考えて置いて、何時でも、歓迎出来ますように、クラブ・プログラムを作って置きましょう。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。